



Newsletter No.201 2022.5.23

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



5月！みどりや花がいっぱい。  
平和もいっぱいあってほしいですね！

## Popoki's Hot News!



NEW

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して  
日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行

### 「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちみちこにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

生まれて育った町、神戸市灘区、人生の半分を過ぎて、あらためてすぐそばにある  
山々の自然の恵みを再確認しています。

晴れの日も雨の日も雪の日も、様々な息吹を感じる生活、こころの平和が大切だとポーポキも教  
えてくれます。ポーポキに感謝して。

裏山の摩耶山大好きです。

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

# Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

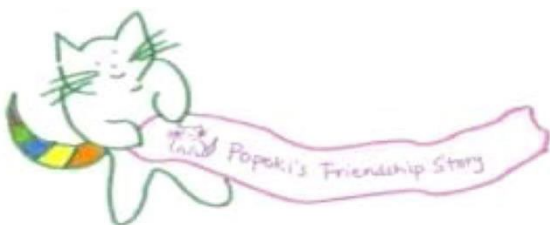
ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる  
<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち  
<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！  
<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

ポーポキのピースマップ  
<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許しください）  
「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」  
<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>



## \*Popoki's Interview\*

ろにゃん

\*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、コロナではなく、大きな地震を体験したポーポキの友だちのおはなしころりの江刺由紀子さんの話を聞きました。

.....

**Q: 2022年3月16日に宮城県、福島県で大きな地震がありましたね。その時、江刺さんは？**

**A: その地震があったのは夜中でした。まさか岩手県の自分のところに被害があると思ってもみませんでした。11年前の東日本大震災のときも、まさか、じぶんのところ！？！と思いました。いつも防災のことを言ったり、備えるように訴えたりしているけれど、災害は本当にいつ来るかわかりません。ふりかえれば、自分に甘さがありましたね。**

**Q: おはなしころりんの活動現場に被害がありましたね。**

**A: ポーポキも来たことがあると思いますが、私たちがいつも読み聞かせ活動などを行っている、NPO法人おはなしころりん運営の「地域交流図書室おはなしサロン」という場所です。2階に未使用の水道があって、蛇口は縛っていたのですが、地震の揺れで近くの棚が動き、蛇口に圧をかけたため開いて、水が一晩中出たらしい。二階は水浸して、水は一階と二階の間の天井裏に溜まり、天井から一階に雨漏り状態、結果一階も水浸しました。絵本や書籍や備品や本棚などが濡れ、一晩で財産が消失しました。**

**Q: 完全に使えなくなりましたね。それでどうしましたか？**

**A: 数日は泣いたりしていましたね。でも結局は我慢をしないで助けを求めることにしました。3月20日に勇気を絞り出して、フェイスブックで緊急支援を呼びかけました。**

**Q: 私はそれを読んで、ポーポキの仲間にシェアしましたが、反応はいかがでしょう。**

**A: 本当にびっくりしたというか、感激しました！たくさんの方が助けてくれました。小学生もおじいさんも！11年前に助けてくれた方も、遠く離れているところにいる方も、地域でもあまり日常的にかかわりが無い方も。フェイスブックでは100回以上にシェアされました。それで直接知らない人からも支援をいただきました。信頼関係ができている人から広がって、つながっていきますね。とても素晴らしいことだと思います。**

**Q: 4月18日から活動を再開していますね。どんな気持ちですか？**

**A: 「感謝」や「うれしい」ということばではとても伝えきれない気持ちですね。本当にがっかりしていたのに、こうやってみんなに助けられました。最近はウクライナのこともあり、憤りを感じることもたくさんありますが、世の中にこんなに助けてくれる人がいるんだ！みなさんの善意の気持ちに感謝し本当に感激です。**

**Q: 江刺さんも人を助ける活動をたくさんしていると思いますが、今度は立場が逆でしたね。**

**A: そうですね。東日本大震災のときは、家が流されていなかったのも、みんなのためにお手伝いしたいと思いました。今回は助けてもらいましたが、そのうれしい気持ちを力にして、活動を通して地域に返したいと思います。**

**Q: ポーポキ通信の読者のみなさんにお伝えたいことは他にありますか？**

**A:** そうですね。今回、私は助けを求めたおかげでたくさんの方に助けていただきました。声をあげることは難しいですし、勇気がいるけれど、苦しい時に「助けて！」と試してみることが大事だと思います。そしてもう一つは、今回はつながりを強く感じました。役に立ちたいという善意の気持ちが世界中に広がっていけばいいと思います。悪い気持ちは連鎖すると言われますが、良い気持ちが連鎖することをみんなに教えてもらいました。おかげで、この世の中で生きていきたいと思うようになりました。みなさん、本当にありがとうございました！



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 169

今月のテーマは…いろいろ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、座ったままにしましょう。右足をのばし、左足をまげて、右足の外側に足をつける。右手でやさしく左足をひっぱりながら、上半身を左へツイスト！5回ほど大きく息を吸ってから、反対側でもやってみましょう。
3. 次は、あお向けになり、膝を立てましょう。お尻をアップ！肩もあげられる？無理をしないでね。息を5回ほど大きく吸いましょう！
4. 今度は、その姿勢をキープしながら、お尻をあげたり下げたりします。10回ほどくりかえしましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：2022年6月14日 Zoom 会議 19:00～\*

\*\*\*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

- ・5月24日 ポーポキと一緒に平和を考えるワークショップ（モルドバの高校生と）。
- ・8月3日 多文化共生セミナーで平和を考えるワークショップ（zoom）
- ・8月5日 子どもリングで平和を考えるWSパート2
- ・8月9日？ 核を考えるワークショップ（zoom）
- ・10月22日？ 平和と健康ワークショップ

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすすむみち—学校に行けない君たちへ—』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子(2020)「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)
- ・Alexander, Ronni (2021) "The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 28(2), 1-22. [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)
- ・Alexander, Ronni (2022) "Art-stories as reflection: Learning from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 29(2), 27-51. <http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/>

日本平和学会イベント！  
<https://www.psj.org/chiku-kansai/>

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)

アマゾンで買えるよ!

全編日英対照

神戸大学出版会

# ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して  
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander



令和4年3月  
発売!!

A5判・192ページ  
定価 2,420円 (税込)

## 【本書の内容】

### 前書き

#### 第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

#### 第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきゅ(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

#### 第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える—(高田西)  
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究大会2021年)  
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー)  
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

### 後書き：新たな旅

今度はあなた

### Prologue

#### Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

#### Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

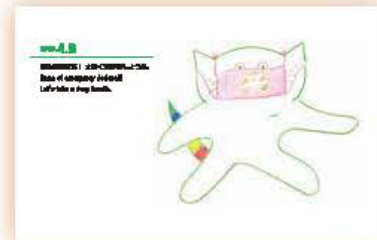
Pool

#### Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

### Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>  
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター  
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いた―“人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO:66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk33web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



## 私にとってポーポキ

ぽにゃん

5年前、引っ越しをする際に思い切って自室の壁一面を本棚で埋めました。これでしばらくは本の置き場に困らないだろうと思っていましたが、隙間はすぐに埋まり、現在はあらゆる場所に詰め込んでいる状態です。小学生の頃に買った漫画、初めてのバイト代で買った小説、積み上げて満足している状態の歴史書……色んな本が部屋にあふれています。

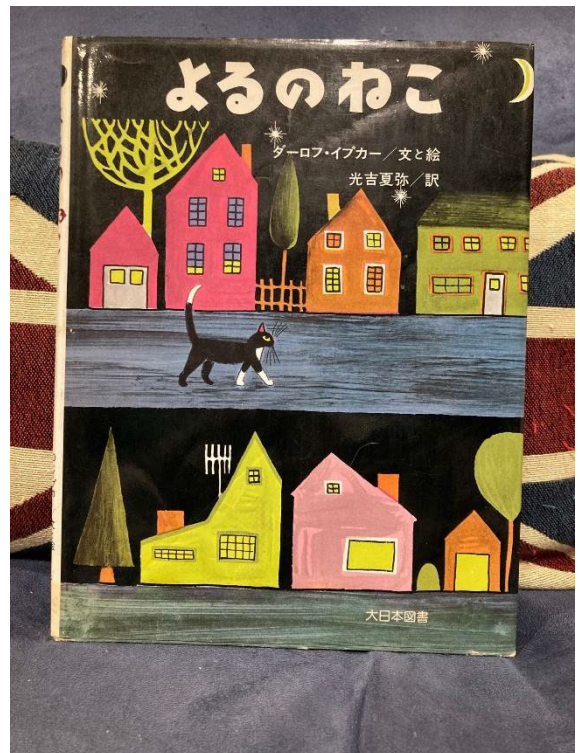
3月、ロシアのウクライナ侵攻が始まって数週間程経った頃、アレキサンダー先生にお会いしました。その時、先生がおっしゃった「もし、家から逃げ出さなくてはならなくなった時、一冊しか本を持っていけないとすると、何の本を持っていく？」という言葉が、胸の奥にひっかかりました。二度と戻れないかもしれない家、戻ってこられたとしても残っているのか分からない家。そこから一冊だけ本を持っていくなら、どの本を持っていけばいいのか。その夜、お気に入りの本が詰まった部屋の本棚の前で、私は悩みました。

ふと思い出したのは『よるのねこ』という絵本。幼い頃からずっと持っているのですが、普段は存在を忘れていることも多い本です。なぜこの本なのか。久しぶりにその絵本を手にとってみました。

ストーリーは、夜のまちを猫が歩いていくという単純なもの。でもページをめくっていくうちに、母親と一緒に、あるいは一人で読んだこと、小学校1年生の読書感想文に書いたこと、それに対して先生がコメントしてくれた言葉など、色んなことを思い出しました。最後のページをめくると、母親が書いてくれた私の名前が。それを見た時、懐かしさと恥ずかしさで胸がいっぱいになりました。

『よるのねこ』には、私の幼い頃の思い出が詰まっているのです。それは、心の支えと言えるかもしれません。戦争という恐ろしい状況下から逃げ出すために、一冊だけ持っていくとしたら。私が選んだ本は物語でも知識でもなく、安心の象徴のような本でした。

ポーちゃんは、安心ってどんなものなのか聞かかけてきます。私は「この絵本に詰まっているもの」と答える……かもしれません。







ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

